

蠟梅 Now

「生物多様性」という言葉を最近よく耳にする。特定の地域、種の保全の取組みだけでは生物多様性の保全を図ることができないとの認識から、新たな包括的な枠組みとして生物の多様性に関する条約が提案され、国際条約が締結された。その 10 回目の締約国会議が今、名古屋で COP10 として開催されている。多様な生き物や生息環境を守り、その恵みを将来にわたって利用することの重要性が謳われている。

当法人では、再生可能エネルギーについて関心を持っており、その一つに風力発電がある。今、風力発電には追い風が吹いているが、この数十年地上を吹く風の勢いがじわじわと弱まっていることが関心を呼んでいる。風が弱まった理由の一つとして、有力視されているのが、植生の変化などによって地上の凹凸が増えたことの影響。植林した樹木が高木に育つと、風のエネルギーを吸収して風速が弱くなるという。これも生物多様性の乱れの一つといえるのではないだろうか。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」に二世が誕生した。過去に、採取した種子からの実生を試みることがあるがうまくいかなかった。発芽に至らなかったのは、種子の表皮が極めて厚くて硬いのがその一因であると思われる。今回、採取した種の一つから、播種後およそ 40 日を経て発芽したのである。双葉になり、その間から本葉が出てきた。大事に育ててやりたい。



以上

《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信
〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7
TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)
E-mail : info@npo-ftfk.or.jp
URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>